

LAN iSilencer の導入(14) (HP 収載)

—USB-201 経由再生—

1. はじめに

このところ、STAGE+などのストリーミング再生は、もっぱら PC から Sonica DAC 経由で再生してきましたが、PC からインフラノイズの USB-201 経由で再生し、LAN iSilencer の追加その他 LAN 空きポートや USB 空きポートや HDMI 空きポートへの対策の効果を確認することにしました。

2. LAN iSilencer の試聴方法

LAN iSilencer の追加その他は前報(12)のとおりです。

このところ USB-201 は、ハイレゾ音源や DSD の再生ができませんので、しばらく使用していませんでした。それ故、STAGE+などのストリーミング再生が可能かどうかもテストしたことはありません。

今回の再生ルートは、インフラノイズの製品総動員で下記のルートで実施します。

PC→UACU-700→USB-201→CCV-5(*)→DACU-500→DAC-1

→TruPhase→BACU-2000→300B シングルアンプ

*クロックレシーバー：GPS-777 より 44.1KHz クロック入力

USB-201 にはクロックを入力せず、CCV-5 でリクロックし、USB ラインには USB アキュライザー、デジタルラインにはデジタルアキュライザー、アンプへのバランス入力ラインにはバランスアナログアキュライザーを介在させています。

音源は下記に示したとおりです。

STAGE+

シューベルト ピアノ 5 重奏曲「鱒」

リサ・パテイアシュビリ(ヴァイオリン)他

ベートーヴェン 後期ピアノソナタ

マウリチオ・ポリーニ(ピアノ)

ウジェーヌ・イザイ 無伴奏ヴァイオリンソナタ集

ヒラリー・ハーン(ヴァイオリン)

Spotify

アントニオ・ヴィヴァルディ チェロ協奏曲 Fmajor

Hrriet Krijgh(チェロ)

Candida Thompson 指揮 Amsterdam Synfonietta

J.S.バッハ リュート組曲 Gminor

Alberto Grugnola(リュート)

3. LAN iSilencer の試聴結果

しばらく使用していませんでしたが、PC は USB-201 を認識でき、再生が可能でした。

シューベルトの「鱒」は、弦楽のパートもピアノも柔らかく響きますが、コントラバスの明瞭さは Sonica DAC より後退します。

ベートーヴェンの後期ピアノソナタは、ヘラクレスザールにおいてポリーニの弾く Fabbrini の豊かな響きが聴けますが、打鍵の鋭さは Sonica DAC より甘くなります。

イザイの無伴奏ヴァイオリンソナタ集は、ともすればエッジが効きすぎるきらいのある音源ですが、適度な解像度でヒラリー・ハーンの絶妙なボウイングが再現されています。

ヴィヴァルディのチェロ協奏曲はチェロの柔らかい膨らみのある音とバロックアンサンブルの響きの良さが伝わってきます。

バッハのリュート組曲は、柔らかいピックと豊かな胴鳴りが聴き取れます。

上記 2 曲とも、ともすればぎすぎすしがちな Spotify の再生ではありません。

4. まとめ

配信音源に関して USB-201 経由の再生を行い、旧型機のラインアップ構成ながら、仮想アースや LAN iSilencer の追加などの対策で、STAGE+や Spotify からのストリーミング再生がかなりのレベルに達していることが確認できました。

以上